

校報かめのこ

福生六小ホームページ <https://fussa-6e.hs.fussa.school/>

か	考える子
め	めげない子
の	伸びる子
こ	心豊かな子



「節目を越えて」

福生市立福生第六小学校

校長 富永 大優

今年度が始まってもう一か月が過ぎました。4月のはじめ頃は、昇降口を間違えたり、思わず前の学年やクラスを言ってしまう子もいましたが、もうすっかり新しい学年や学級、教室に慣れてきたようです。

毎年、4月の一か月は、子ども達が大きく成長したように感じます。カレンダーが3月から4月が変わったからといって、急に体が大きくなるわけではありませんが、なぜか大きくなったように感じます。学年が上がるという「節目」を迎えて一人一人の子どもの中に、意識の変化が訪れたからだと思います。学年が上がるということは、私たちが思っている以上に子ども達には、大きな一歩なのかもしれません。

班長やリーダーに立候補したり、苦手な勉強でもしっかりと話を聞いたりするなど、一人一人が何かをがんばっている姿を見ることができます。また、下級生に優しく接する姿からは頼もしさと優しさを感じます。そういった成長の一つ一つが積み重なって、できることが増え、青年に近づいていくのだと思います。

私は、子ども達が成長していくために、「節目」は大切だと思っています。学校では、節目となる行事が様々あります。入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式などです。「節目」では、一度立ち止まり、今まで歩んできた道を振り返ることで、自分の成長を感じ、そして、これから先の自分に希望をもつ。そんな「節目」をこれからも大切にしていきたいと思います。また、子ども達もこれから幾度となく訪れる「節目」を越えながら、できることを増やし、大きく成長して欲しいです。

大型連休に入るにあたり

- ・連休中、旅行やレジャー等に出かける方もいらっしゃると思います。福生市教育委員会が作成した教材を使用し、各学級で「多摩川では泳がない、多摩川には入らない」ことを指導しました。多摩川を含め、川や海、湖等にお出かけの際は御注意ください。
- ・登下校や外出の際に、不審者と思われる人から声かけやつきまといがあるときは、学校でも指導をした「いかのおすし」の行動をとり、警察に通報してください。
- ・お子様が悩んでいることや心配なことがあれば、周りの大人や学校の先生、スクールカウンセラーなどに相談して欲しいです。他にも相談できる場所はあります。一人で悩みを抱え込むことがよくお声がけください。